

スターゼン、畜産由来の温室効果ガス削減の取り組みを開始 環境対策を「価値」として農場へ還元し、持続可能な畜産経営を後押し

スターゼン株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：横田 和彦、以下「当社」）は、協力農場である北海道はまなか肉牛牧場株式会社（以下「はまなか牧場」）において、味の素株式会社が提供する牛用アミノ酸リジン製剤「AjiPro®-L」を和牛へ給餌する取り組みを開始しました。

本取り組みでは、肥育段階でAjiPro®-Lを給餌することで増体効率を高め、肥育日数の短縮や枝肉重量の増加を図るとともに、枝肉単位重量あたりの温室効果ガス（以下「GHG」^{※1}）排出量の削減を目指します。さらに、その削減量をJ-クレジット^{※2}として価値化し農場へ還元することで、生産効率と環境負荷低減を両立する持続可能な畜産モデルの構築を推進してまいります。

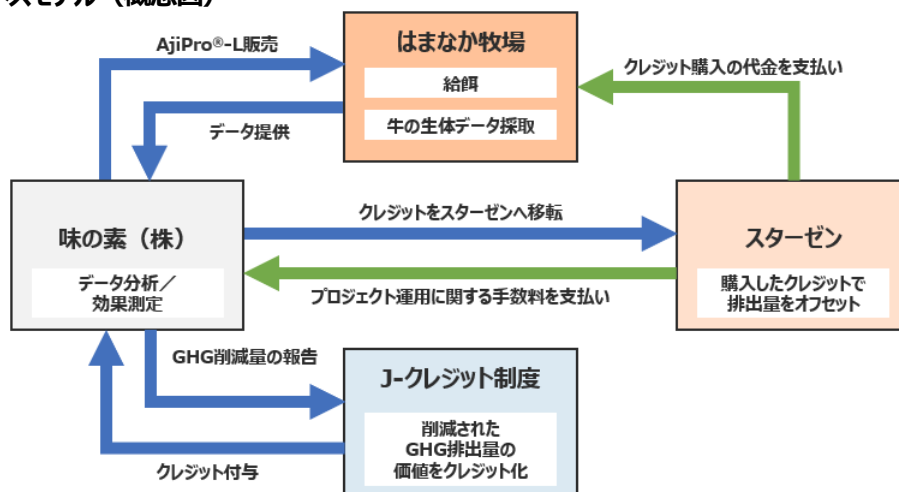
※1) Greenhouse Gas の略

※2) CO₂などのGHG排出削減量や吸収量を売買可能な「クレジット」として国が認証する制度

■取り組みの背景

気候変動は、家畜の生育環境に大きな影響を及ぼす重要課題であり、当社はサプライチェーン全体でGHG削減に取り組んでいます。2023年10月から、はまなか牧場において交雑牛にAjiPro®-Lを用いた飼料を与えるトライアルを開始し、1日当たりの体重増加量が平均約10%向上、枝肉重量が約23kg増加する効果を確認しました。また、本トライアル条件に基づくGHG削減効果は、牧場全体で年間約100t（144頭/年の給餌が前提）と試算されています。今回の取り組みは、これらの成果を踏まえ、より付加価値の高い和牛での取組として展開するものです。

ビジネスモデル（概念図）



■今後の展開

今後は、はまなか牧場において和牛肥育でのAjiPro®-L導入を継続し、生産性や肉質、健康状態、GHG削減効果の検証を進めます。将来的には環境配慮型ブランド牛の開発や海外輸出における付加価値向上にも活用し、環境負荷低減と生産性向上を両立した、海外市場でも選ばれる和牛ブランドの確立に繋げていきます。



■AjiPro®-L について

味の素株式会社が2011年より販売している牛用アミノ酸リジン製剤です。通常、牛の第一胃で必須アミノ酸の一つであるリジンは分解されてしまい、栄養として活用することが難しいところ、味の素株式会社独自の製造技術によってリジンを栄養として利用可能な小腸まで効率良く届けることができます。生産性の向上と飼料効率の改善をもたらす製品として世界中で使用されています。

【この取り組みに関するお問い合わせ先】

サステナビリティ推進室 脇坂 努

E-mail tutomu.wakisaka@starzen-group.com

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

スターゼン株式会社 広報・IR部 海老原俊司 TEL 03-3471-5521/FAX 03-3471-5690

E-mail information@starzen-group.com